

平成 18 年度

監査事務局予算要求方針

- 目 次 -

- 1 平成18年度監査事務局予算要求総括表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
【一般会計】
- 2 18年度予算要求にあたっての基本的考え方・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3 事務事業の総点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
 - (1) 事務事業の見直し

1 平成 18 年度監査事務局予算要求総括表

【一般会計】

(単位：百万円)

区 分	平成 17 年度 予 算 額 A	平成 18 年度 要 求 額 B	増▲減額 B - A	増減率 (B - A) / A
監 査 事 務 局	26 (26)	25 (25)	▲1 (▲1)	▲4.6% (▲4.6%)

※1 ()内は一般財源額。

※2 本表は百万円単位のため、増減額及び増減率の合計が一致しない場合がある。

2 18 年度予算要求にあたっての基本的考え方

国や自治体の財政状況が非常に厳しいものとなっている中、行政から独立した機関として、公正・中立な立場で監査を行い、市民に代って行政の適法性、効率性及び妥当性をチェックする監査委員監査の役割は、その重要性を増してきている。

監査事務局は、監査機能の専門性・独立性を確保しながら、より一層の監査事務の充実に努め、市役所改革の推進や市民ニーズに対応した、より実効性の高い監査を目指し、本市の厳しい財政状況を十分に認識したうえで、平成 18 年度においては以下の課題について重点的に取組むこととし、必要な予算を計上した。

1 監査機能の充実強化

平成 16 年度から所管部の事業に着目し、経済性・効率性・有効性など広く財政運営全般の観点から監査委員としての「意見・要望」を一部実施してきたが、これを拡大して、多くの事務事業の中から必要に応じて具体的な問題提起を行い、事務改善につなげていく。

出資団体の監査サイクルについて、平成 16 年度からの 3 年度で、段階的に出資団体の監査の 3 年サイクル化（従前は 4 年サイクル）を進めており、平成 18 年度から完全実施する。

ホームページ「札幌市の監査」の内容充実を図り、監査結果等の情報提供は速やかに行う。

監査事務の質的向上を図るために、職員のスキルアップを目的とした研修を充実させる。

3 事務事業の総点検

(1)事務事業の見直し

◎内部効率

■一般事務費の節約や、効率的な執務による時間外勤務手当等の抑制

<見直し額 1.2 百万円>